

6.5 受信アドレスの設定

6.5.1 ジェネリックアドレスの利用

MTA の主な設定のひとつに MTA が受信するメールアドレスの設定があります。一般的な MTA のデフォルト設定では、次のようなメールアドレスを受信します。

「**ユーザー名@メールサーバー名(FQDN)**」 例: mickey@station1.example1.com

一方で、一般的には、次のようなメールアドレスが使用されています。

「**ユーザー名@ドメイン名**」 例: mickey@example1.com

このようなメールアドレスをジェネリックアドレスといいます。ジェネリックアドレスを使用する場合には、次の 2 つの設定が必要になります。

メールアドレスと送信先サーバーの関連付け

ジェネリックアドレスを使用する場合には、メールアドレスから実際の送信先のメールサーバーがわからないため、メールアドレスと送信先サーバーの関連付けが必要になります。この仕組みには DNS の MX レコードを使用します。

受信アドレスの設定

デフォルト設定では「ユーザー名@メールサーバー名」以外のメールは、MTA は他ホスト宛のメールとみなすため、受信しません。したがってジェネリックアドレスを使用する場合には、受信アドレスの設定が必要になります。他ホスト宛のメールを受信したりバーチャルホストを実現したりするためにも、受信アドレスの設定を行います。

6.5.2 DNS サーバーへの問い合わせ

ジェネリックアドレスを使用する場合や、他ホスト宛のメールを受信する場合には、DNS サーバー上のゾーンデータに MX レコードが登録されている必要があります。MX レコードの確認には、host や dig、nslookup コマンドを使用します。

MXレコードが登録されている場合

```
# host -t mx example1.com
example1.com mail is handled by 10 stationX.exampleX.com.
```

exampleX.com 宛のメールを取り扱うメールサーバーは stationX.example.com であるという意味

MXレコードが登録されていない場合

```
# host -t mx example.com
Host example.com not found: 3(NXDOMAIN)
```

6.5.3 受信アドレスの設定

DNS のゾーンデータへの MX レコードの登録とは別に、MTA では受信アドレスの設定が必要です。受信アドレスの設定は main.cf に設定します。

■ mydestination

受信アドレスは、main.cf の mydestination を設定します。受信アドレス(@以降)を「,」で区切り指定します。デフォルトでは、自ホスト名と localhost 宛のメールを受信するので、コメントの位置を変更し、\$mydomain を加えた設定項目を有効にします。

/etc/postfix/main.cf

```
#mydestination = $myhostname, localhost.$mydomain, localhost
mydestination = $myhostname, localhost.$mydomain, localhost, $mydomain
#mydestination = $myhostname, localhost.$mydomain, localhost, $mydomain,
#      mail.$mydomain, www.$mydomain, ftp.$mydomain
```

上記設定の場合、自ホスト宛(\$myhostname)に加え、xxx@localhsot.exampleX.com、xxx@localhost、さらにドメイン宛の xxx@exampleX.com を受信します。

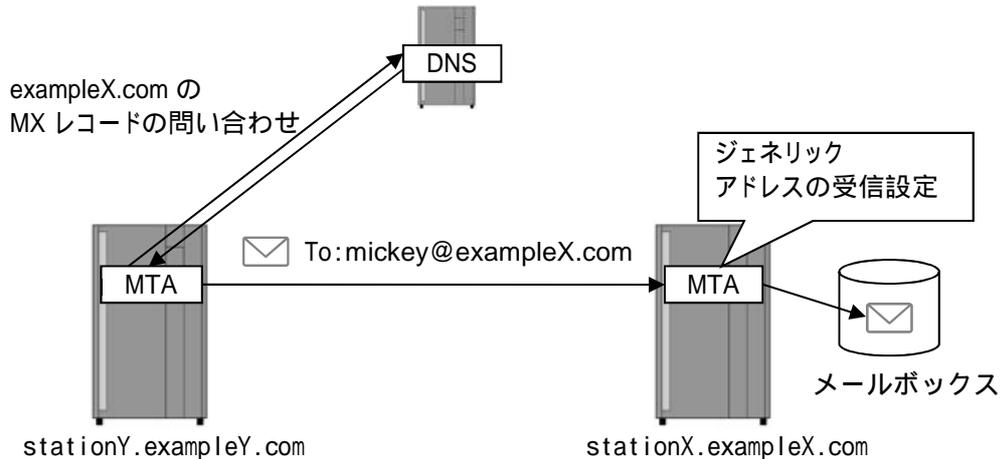
なお、mydestination では、myhostname および mydomain を参照しています。設定値を確認するには、postconf コマンドを使用します。

```
# postconf | grep -e '^mydomain' -e '^myhostname'
mydomain = example1.com
myhostname = station1.example1.com
```

【実習】ジェネリックアドレスの受信設定

この実習は、1人2台のホストを使用します。一方のホストを stationX.exampleX.com、もう一方のホストを stationY.exampleY.com とします。

stationX 上の postfix にジェネリックアドレス(ユーザー名@exampleX.com)の受信設定を行います。その後 stationY 上から、mickey@exampleX.com 宛にメールを送信し、stationX 上で受信できることを確認します。



1. stationX および stationY 上で、exampleX.com の MX レコードが登録されていることを確認します。

```
# host -t mx exampleX.com
```

2. stationX 上で、/etc/postfix/main.cf 内の「mydestination」のコメントの場所を変更し、次の設定を有効にします。

```
[ X ] # vi /etc/postfix/main.cf
```

```
/etc/postfix/main.cf
```

```
mydestination = $myhostname, local host.$mydomain, local host, $mydomain (追加)
```

3. stationX 上で postfix を再起動します。

```
[ X ] # /etc/rc.d/init.d/postfix restart
```

4. stationY 上から mickey@stationX.exampleX.com と mickey@exampleX.com 宛にメールを送信します。

```
[ Y ] # date | mail -s 'address test No1' mickey@stationX.exampleX.com  
[ Y ] # date | mail -s 'address test No2' mickey@exampleX.com
```

5. stationX 上の mickey ユーザーでメールを受信します。

```
[ X ] # su - mickey  
[ X ] $ mail  
[ X ] $ exit
```

参考 受信アドレスの未設定によるエラーメール

以下は、DNS サーバー上のデータに MX レコードの登録は行われているが、受信アドレスの設定を行っていない場合のエラーです。

MX レコードに登録されているメールサーバー上で、ジェネリックアドレス宛にメールを送信

```
# hostname
station1.example1.com
# host -t mx example1.com
example1.com mail is handled by 5 station1.example1.com.
# echo 'mx test' | mail -s 'mx test' root@example1.com
# mail
```

エラーメールの内容

```
From MAILER-DAEMON Wed Jun 20 03:42:31 2012
Return-Path: <>
X-Original-To: root@station1.example1.com
Delivered-To: root@station1.example1.com
Date: Wed, 20 Jun 2012 03:42:31 +0900 (JST)
From: MAILER-DAEMON@station1.example1.com (Mail Delivery System)
Subject: Undelivered Mail Returned to Sender
To: root@station1.example1.com
Auto-Submitted: auto-replied
Content-Type: multipart/report; report-type=delivery-status;
    boundary="1F0123FCF6.1340131351/station1.example1.com"
Status: RO

Part 1:
Content-Description: Notification
Content-Type: text/plain; charset=us-ascii

This is the mail system at host station1.example1.com.

I'm sorry to have to inform you that your message could not
be delivered to one or more recipients. It's attached below.

For further assistance, please send mail to postmaster.

If you do so, please include this problem report. You can
delete your own text from the attached returned message.

                The mail system

<root@example1.com>: mail for example1.com loops back to myself
...
```

このメールは、station1.example1.com が example1.com 宛のメールを外部のメールサーバーに送信するために MX レコードを調べたところ、「example1.com の MX レコードが、自分自身に戻ってきている」というエラーです。